



NEW 2019年版 好評発売中!
海運・造船会社要覧

記事検索 DATA BANK 電子版明版

WEB 閲覧を終了する際、必ずログアウトボタンを押してください。
ログアウトしないままブラウザを閉じる（×ボタンで閉じる）と、システム上15～30分後
ログイン出来ない状態になります。

ENGLISH

トップニュース きょうの特集 航空 海運 ロジスティクス コラム

最新記事の目次

Daily Cargo
試読お申し込み

求人広告募集
このスペースに掲載できます。

創刊10周年記念特集号

世界は加速的に変化している。国際物流領域の未来も握る。創刊10周年記念特集号としてレポートする。
> 詳しくはこちら

姫路港開港60周年特集

姫路港は2019年4月、開港60周年を迎える。コンテナ貨物は、国際コンテナ戦略港湾・阪神港と連携し、トライアル輸送も実施している。
> 詳しくはこちら

- eAWB特集2019
- インド物流特集
- 那覇港特集
- 半導体・精密機器輸送特集
- 羽田空港物流特集
- 中部圏物流特集2018
- 北九州市物流特集
- 中国物流特集2018
- 農水産物・食品輸送物流特集

物流企業の海外拠点2019

地方の物流を支える拠点

航空貨物Q&A
100問100答 第6版

改訂版 ロジスティクスの基礎知識

通販物流
ビジネス成功への必要条件

会計士の見た上海20年
駐在員の奮闘史

FTZ実現で日本再生
敦賀港から取り組む規制改革

2019年5月9日 18時4分

平野ロジスティクス 車両増強、専任部署を設置 幅広貨物対応を強化



益子研一取締役営業本部長



多様な貨物の輸送需要に対応している
(写真は成田空港)

平野ロジスティクスは、幅広貨物輸送への対応を強化している。厳密な温度管理、高度な品質が求められる精密機器をはじめ、横幅のある貨物輸送のニーズが多くなっている。同社のオリジナル・トレーラーを駆使するとともに専任部署を設置。万全の体制でサービスを提供している。一方、2020年の羽田空港の容量拡大、国際線発着枠拡大を受けて、成田空港—羽田空港間の保税転送(OLT)需要が増加すると見ている。トレーラー増車など体制を強化する方針だ。益子研一取締役営業本部長は「両空港間の効率的な輸送、両空港の一体的な運用に貨物の観点から貢献できるように体制を整える」と話す。

■成田—羽田間輸送増加に備え

平野ロジスティクスは現在、従来の大型トラックと比べて96インチ仕様のULDを1台多く搭載できるトレーラー車「+1」、同2台多く搭載できるフルトレーラー車「+2」、大型トラックよりLD3コンテナ換算で7台多く搭載できるセミトレーラー車「+7」、「+7」に改良を加えて8台多く搭載できる「+8」といった新型トレーラーを順次、導入してきた。

さらに「+1」に比べて積載量・容量を拡大した「+1α」の導入を進めている。荷台には欧州で使用されているターボリンシートによるカーテン方式を導入。車両側面からの貨物搭載も可能だ。背高貨物、幅の広い貨物にも対応可能な改良を施すなど、顧客ニーズに柔軟に対応できる仕様としている。

平野ロジスティクスは、3メートルを超えるような幅広貨物の輸送にも対応している。関東支店に幅広貨物に特化した特殊輸送チームも設置した。同社のオリジナル・トレーラーに加えてオートコンペア付きの平ボディ車も活用して対応。精密機械の取り扱いが多く、専任部署も設置して、これまで培ってきた品質を最大限に生かしている。

成田空港では制限区域内の運行許可取得も視野に入れている。航空機から取り降ろされた大型貨物をシブサイドで車両に搭載して搬出することを可能とするなど、万全の態勢で対応するための準備を進めている。

ドライバーの労務環境の向上も鑑み、中継輸送にも積極的に取り組んでいる。例えば、首都圏—関西間の輸送では、新東名高速道路の浜松サービスエリアに隣接した「コネクティア浜松」を活用。首都圏、関西圏それぞれを出発したトレーラーが、コネクティア浜松でそれぞれの荷台を入れ替える形で、首都圏発の車両は首都圏方面に、関西圏発の車両は関西圏に戻る形で輸送を完結する。ドライバーはそれぞれの出発地に戻ることができる。

DHL グローバル フォワーディング ジャパン株式会社

おすすめの新聞

- タイ物流特集
- 釜山港特集2018
- 横浜港特集2018
- 「通関業の日」特集
- 空の日特集
- 国際物流総合展特集
- 博多港特集
- 堺泉北港特集
- 三田尻中間港特集
- 台湾ハブ特集

アクセスランキング

きょう	前号	過去1週間
9時21分現在		
北米S C交渉 18年比で大幅上昇 供給増抑制で需給バランス改善		
港湾春闘 最賃統一回答問題、小国交で継続協議 毎日曜のストは延期		
【記者座談会・海運この1カ月】 港湾春闘が長期化、4週連続でスト ONEは今年度黒字転換へ		
平野ロジスティクス 車両増強、専任部署を設置 幅広貨物対応を強化		
新生成田市場 冷蔵・冷凍庫運営者を募集 開場21年に変更		
【展望台】 効率化は見える化から		
成田機能強化 環境アセス大詰め		
日新 台湾で現地物流会社と合併会社		
三井倉庫HD <19年3月期決算> 経常益70%増、収支改善進捗		
ルフトハンザグループ <19年1~3月期決算> EBITDA45%減、EBIT3億3600万ユーロ		

株式会社 海客プレス社
KAIJI PRESS CO., LTD.
 発行書籍のご案内
 電子書籍のご案内
 誰でも簡単
**電子書籍
 利用ガイド!** 動画版

トレーラーの特色を最大限に生かした物流効率化にも取り組んでいる。関西空港—中部空港—成田空港の輸送の中で、関西空港で中部向け貨物を搭載した車両が、深夜に中部空港に到着。トレーラー（荷台）部分を上屋スペースで切り離す。トラクター（ヘッド）部分は、中部空港の上屋スペースで、成田空港向け貨物が搭載されているトレーラー（荷台）部分をけん引して成田空港に向けて出発する。中部空港で取り降ろされたトレーラー（荷台）部分の貨物は早朝にブレークダウン、顧客への搬入が行われる。中部空港を出発した車両は、これとほぼ同じタイミングで成田空港に到着する。

トラクター（ヘッド）部分は常時、貨物を搭載したトレーラー（荷台）部分をけん引して走行している形となる。トラクター（ヘッド）部分が走行している最中に、空港に取り置かれたトレーラー（荷台）の貨物取り降ろし、貨物積み込みが実施され、車両の到着に備える形となる。

ドライバーの労務規定を順守、労務環境に最大限に配慮しながら適時・適切な運行管理を組むことで、車両の稼働率向上、荷待ち時間短縮・解消につなげる取り組みだ。

20年の羽田空港の発着容量拡大、国際線発着枠増加を受けて、成田空港—羽田空港間のOLT増加も想定している。すでに米国路線への配分が決まっており、平野ロジスティクスとしても両空港間のOLT需要拡大への対応に向けて準備を進める。

成田空港外に位置する関東支店（成田市三里塚）では、現行の倉庫に加えて新たな倉庫を整備する構想もある。保税蔵置許可の取得も構想に含まれており、例えば車上通関といったサービスも検討する。突発需要など貨物量が急激に拡大した緊急時などに、フォワーダーをはじめとした航空物流関係事業者へのバックアップ体制を確保することで、航空貨物業界に貢献する方針だ。

戻る

▲ページの先頭へ

電子版のお申込み（購読/試読）
 新聞のお申込み（購読/試読）
 新聞読者の電子版ユーザーID登録お申し込み
 Daily Cargoメルマガのお申し込み

Daily Cargoとは
 会社概要
 お問い合わせ
 プライバシーポリシー
 会員規約

ご購読について
 著作権/リンクポリシー
 広告掲載について
 特定商取引法について

記事検索
 DATABANK
 電子縮刷版
 ヘルプ
 サイトマップ

の赤字 貨物EBITは黒
 字

